

# J A 鈴鹿の自己改革への挑戦

J A 鈴鹿は、自己改革の着実な実践を通じて、農協改革で求められている「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」の実現を目指します。

## 自己改革3カ年計画（平成28年度～平成30年度） 《概要》

重点目標	基本目標	重点施策
<b>I</b> 「農業者所得の増大」に向けた農業生産力・販売力の強化	1. 米の取扱高の維持・拡大	基本技術指導の強化による品質向上 / 集荷体制の強化による集荷率の向上 / 地区農業再生協議会および農地中間管理機構との連携による生産面積の確保
	2. 水田フル活用の推進による麦・大豆・飼料用米等の生産確保	基本技術指導の強化による品質向上と収量の増加
	3. 加工用野菜（白菜・カボチャ）の生産拡大	部会を核とした新規生産者の掘起しと単一経営農家への複合経営提案による生産者数の増加
	4. 伊勢茶の品質向上と販売拡大	茶園管理指導の充実等による品質向上 / 系統組織と連携した茶販売強化
	5. 大麦若葉の生産維持と品質向上	遊休農地を活用した大麦若葉の作付推進
	6. 植木の販売強化	需要動向を的確に捉えた取引拡大
	7. 畜産物の販売拡大	系統組織と連携した肉用牛・みえ豚の出荷販売の拡大
	8. 果菜彩の取扱高の拡大	いきいき農業大学等を通じた販売農家育成による果菜彩出荷会員の拡大 / 消費者ニーズに対応した店舗運営による来店客の拡大
	9. 農業経営コストの低減	農業資材の仕入機能強化による安価供給と低コスト生産資材の普及 / 奨励措置の継続と弾力的な価格対応による安価供給 / 農機レンタルサービスの利用促進による農業機械導入コストの低減
<b>II</b> 多様な担い手の育成・支援と地域農業の振興による持続可能な農業の実現	1. 産地形成に向けた白ネギの生産拡大	部会を核とした新規生産者の掘起し
	2. 営農振興基金と系統支援策の利用促進による経営支援	部会等での説明会の開催
	3. 鈴鹿市中学校給食における地場産農産物の使用率の向上	地場産農産物の使用率向上に向けた生産者の確保
	4. 農業経営の拡充による地域農業の振興	学校給食用野菜の安定供給に向けた農業経営の実施 / 産地づくりや地域農業の発展に向けた農業経営の実施 / 地域農業を継承する担い手の育成・支援
	5. 農作業請負事業の実施による耕作放棄地対策の強化	レンタル農機を活用した農作業請負の拡充
	6. 「多彩な野菜づくり」の推進による地域農業の活性化	組合員等を対象とした「多彩な野菜づくり」の推進による新規販売農家の拡大
	7. 農産振興に向けた営農指導の充実・強化	営農経済渉外員の指導技術と渉外能力の向上
	8. 担い手支援にかかる取組み強化	営農指導員や営農経済渉外員を中心とした個別・集団対応の拡充
	9. 相続・事業承継支援の強化による生産基盤の維持・拡大	相続・事業承継支援の充実に向けた担当部署や受付相談窓口の設置
<b>III</b> 総合事業の展開による豊かな暮らしの実現と地域の活性化	1. 高齢者がいきいきと生活できる地域社会の実現	高齢者福祉活動やボランティア活動の充実による高齢者の健康増進
	2. 地域農業への理解増進と新たなJAファン獲得に向けた食農教育活動の展開	幅広い年齢層への食農教育活動の実践 / 食の安全・安心のPRに向けた「新予約共同購入運動」の展開
	3. 女性組織の活性化を通じた女性の活躍推進	世代やニーズに応じた活動支援による女性組織の育成・活性化